

市議会だより

12月定例会

- 令和3年度一般会計補正予算案を可決
- 飯能市カヌー工房条例を廃止する条例(案)についてなど可決

目次

| | |
|------------|-----|
| 議案の審議 | ② |
| 委員会の審査 | ③ |
| 議決結果・人事案件 | ④ |
| 市政に対する一般質問 | ⑤～⑩ |
| 陳情・要望等 | ⑪ |
| 市議会案内板 | ⑫ |



議案の審議

12月定例会は、11月26日から12月14日までの19日間開かれ、市長提出議案32件、議員提出議案2件、その他1件について審議等を行い、すべて議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

12月定例会

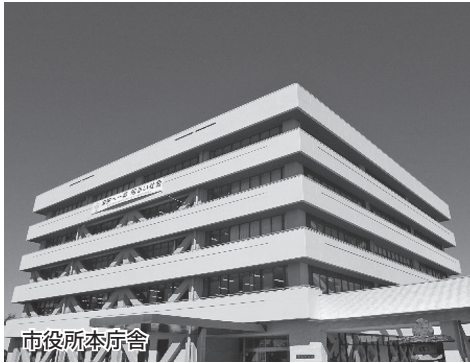
市長提出議案

69 行政機構の改正に伴う関係条例の整備に関する条例

第5次飯能市総合振興計画の着実な推進及び市長公約実現のため、行政機構を改正することに伴い、関係条例を整備するため提案するもの。

問 福祉子ども部及び健康福祉部にした意図は。

答 市民との対話重視を基本姿勢とし、子ども、高齢者、障がい者などへの重層的支援体制の強化、共生社会の実現、安心できる子育て環境の整備等に的確に対応するため。



75 飯能市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

子どもの保健の向上と子育て家庭の経済的負担の軽減を図ることなどから、子どもの医療費の支給対象年齢を拡大するため提案するもの。

問 これまでの成果と課題は。

答 生活費のかかる子育て家庭の経済的負担の軽減が図られ、子育てしやすい環境が整備された。一方で医療費の無償化により安易な受診や過剰な受診が増えることが懸念される。

77 飯能市カヌー工房条例を廃止する条例

飯能市カヌー工房を廃止するため提案するもの。

問 今後のカヌー工房に市として期待することは。

答 技術と経験、経営ノウハウ等を最大限に発揮するとともに、周辺観光施設との密接な連携により、地域のさらなる活性化を期待する。



81 令和3年度飯能市一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出予算に、それぞれ5億1888万6千円を追加し、総額をそれぞれ322億3770万5千円とするため提案するもの。

問 コウノトリ事業による不妊治療費助成の緩和内容は。

答 事実婚も認めること、所得制限を撤廃したこと、利用上限回数を子ども1人ごとにすること。

問 放課後児童対策事業の増額理由は。

答 待機児童が出ている美杉台小学校区に新たに放課後児童クラブを新設するもの。これにより、美杉台地区の待機児童は解消されると考える。

問 清川橋架替事業のスケジュールは。

答 上部工の工場製作や下部工工事後の上部工架設工事、併せて道路改良工事等を行い、令和5年度末の供用開始を目指している。



96 財産の無償譲渡について

飯能市カヌー工房の建物を無償譲渡するため提案するもの。

問 無償譲渡の経緯は。

答 地域活性化のために建物を使用することで合意し、建物の鑑定評価結果及び建物の使用目的の公共性や公益性などを勘案し、無償譲渡することになったもの。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査するため、総務教育、生活福祉、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。

12月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務教育委員会

委員長 梶田博之

副委員長 武田一宏

委員 長谷川順子 中元太

野口和彦 新井巧

野田直人

●**69** 行政機構の改正に伴う関係
条例の整備に関する条例

●街路整備推進課は、都市計
画道路である阿須小久保線、
久下六道線など主要道路の整
備に取り組むこと。

●農林部は、西川材をはじめ
とした林業振興を強化するこ
と、農業や農地に関しては、
精明東部の土地の活用など
に取り組むこと。

●子どもをめぐる問題解決に
関しては、生活保護や介護福
祉、障害者福祉、保育、住
宅、健康など複数の分野にお
いて連携を図ること。

●**81** 令和3年度飯能市一般会計
補正予算(第9号)

●職員の見直しや会計年度任用職
員の配置などにより業務に支
障が出ないよう対応している
こと。

生活福祉委員会

委員長 大津力

副委員長 内田健次

委員 熊田尚子 関田直子

金子敏江 加藤由貴夫

●**75** 飯能市子ども医療費の支給
に関する条例の一部を改正
する条例

●子ども医療費の支給対象年
齢が15歳から18歳に拡大され
ることによる支給金額は、年
間3300万円を見込んでい
ること。



●**76** 飯能市国民健康保険条例の
一部を改正する条例

●出産育児一時金を40万4千
円から40万8千円に改正する
もので、市内に産婦人科がある

医療機関は1箇所であること。

●**81** 令和3年度飯能市一般会計
補正予算(第9号)

●ふるさと納税に関するポータ
ルサイトは9月に10サイトを
オープンし、年間約1万200
0件の寄付があること。

●放課後児童対策事業につい
て、新たに美杉台地区に放課後
児童クラブを新設するための土
地と建物は、浄心寺からの無償
貸与であること。

●令和3年10月時点での生活扶
助の延べ世帯数は3775世帯
で、昨年同時期より127世帯
増加していること。

●保健管理事業の電子計算事務
委託料は、ロタウイルスワクチ
ンの接種歴や大人の健診データ
を市町村間で情報連携ができる
ようにするための改修であるこ
と。

経済建設委員会

委員長 栗原義幸

副委員長 パタソンひとみ

委員 坂井悦子 滝沢修

鳥居誠明 加浦弘貴

●**77** 飯能市カーヌー工房条例を廃
止する条例

●今後も都市と山村の交流とと
もに森林資源の有効利用を図る
目的の継承を協定の中で定めて
いること。

●名栗小へのカーヌーそう艇教室
や駿河台大学生のインターン
シップ受け入れなど、地域貢献
を行っていること。

●**81** 令和3年度飯能市一般会計
補正予算(第9号)

●緑のトラスト保全事業による
取得予定地は、こども図書館の
向かいにある研修施設の南側に
接する河岸緑地であること。

●飯能大橋の修繕設計の実施に
より、コンクリート劣化や舗装
の損傷が確認されたため、前倒
して修繕すること。

●**86** 財産の無償譲渡について

●原則、建物等への固定資産税
は課税されるが、事業の公共・
公益性を踏まえた減免について
は今後の検討事項になるものと
考えていること。

令和3年12月定例会 議決結果

■全会一致の議案等

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略

| 議案番号 | 議案名 | 議決結果 |
|------|--|-------|
| 98 | 副市長の選任について（町田 守弘 氏） | 同意 |
| 70 | 飯能市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 71 | 飯能市の市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 72 | 飯能市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 80 | 令和3年度飯能市一般会計補正予算（第8号） | 原案可決 |
| 69 | 行政機構の改正に伴う関係条例の整備に関する条例 | 原案可決 |
| 73 | 飯能市手数料条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 74 | 飯能市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 75 | 飯能市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 76 | 飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 77 | 飯能市カーヌー工房条例を廃止する条例 | 原案可決 |
| 78 | 飯能市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 79 | 飯能市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 81 | 令和3年度飯能市一般会計補正予算（第9号） | 原案可決 |
| 82 | 令和3年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 83 | 令和3年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算（第2号） | 原案可決 |
| 84 | 令和3年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算（第2号） | 原案可決 |
| 85 | 令和3年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算（第2号） | 原案可決 |
| 86 | 令和3年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算（第2号） | 原案可決 |
| 87 | 令和3年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 88 | 令和3年度飯能市水道事業会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 89 | 令和3年度飯能市下水道事業会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 90 | 市道路線の認定について（八幡町地内） | 原案可決 |
| 91 | 市道路線の廃止について（大字芦荻場地内） | 原案可決 |
| 92 | 市道路線の認定について（大字芦荻場地内） | 原案可決 |
| 93 | 市道路線の認定について（大字双柳地内） | 原案可決 |
| 94 | 市道路線の認定について（大字岩沢、大字笠縫、大字川寺地内） | 原案可決 |
| 95 | 市道路線の廃止について（大字前ヶ貴地内） | 原案可決 |
| 96 | 財産の無償譲渡について | 原案可決 |
| 97 | 財産の無償貸付について | 原案可決 |
| 99 | 令和3年度飯能市一般会計補正予算（第10号） | 原案可決 |
| 諮問2 | 人権擁護委員候補者の推薦について（加藤 栄子 氏） | 異議はない |
| 議提4 | 飯能市議会会議規則の一部を改正する規則 | 原案可決 |
| 議提5 | 飯能市議会委員会条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| | 議員派遣の件 | 派遣 |

人事案件

副市長の選任について

本市の副市長として、新たに町田守弘氏を選任することについて、全員同意しました。



町田 守弘 氏

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員加藤栄子氏が令和4年3月31日をもって任期満了となるので、引き続き同氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。



加藤 栄子 氏

市政に対する

一 般 質 問



髙田 博之 (無所属)

柏木山周辺の課題、分散型電源について、放置空き家と固定資産税、保育所入所問題について

- 問** 柏木山について前回の一般質問からの進捗は。
- 答** 当事者や南高麗まちづくり推進委員会の皆さんとともに飯能にそぐわないものは撤去する方向で進んでいる。
- 問** 入山口付近で始まった太陽光発電事業の概要は。
- 答** 該当地は、昭和54年に都内の法人がゴルフ場開発を計画していた土地の一部で、その計画の中止により何度か転売されたのち前所有者が太陽光発電事業用地として購入し、令和2年度から開発を進めているもの。その後令和3年6月1日に現事業者「合同会社なのはな」に事業譲渡され事業を継続しているもの。
- 問** 住宅の屋根などを使い地域の小規模エリアの電源を賄うマイクログリッド（分散型電源）での太陽光発電事業の考え方は。
- 答** 大規模な送電網を必要としないので電力ロスが少なく、災害時も停電の影響を受けずに電力供給が可能のため、非常に有効である。また、太陽光パネルの処分や再利用については、近年少しずつその方法が確立しつつあるので大いに検討の余地がある。
- 問** 空き家の土地の固定資産税1/6制度の考え方は。
- 答** 住宅政策上の見地から税負担を軽減するための制度であり、200㎡までの敷地については課税標準を1/6、それを超える部分については1/3とするもの。
- 問** 古い空き家を更地にした方の固定資産税を軽減した方がいいのではないか。
- 答** 税の公平、中立という大原則を踏まえて慎重に考えている。
- 問** 保育所入所で、特別な事情を持つ場合の扱いは。
- 答** 空き状況にもよるが、必要性に応じて対応したい。



柏木山入山口付近の太陽光発電事業



一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は11人の議員が登壇しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されているQRコードから、該当議員の動画をご覧いただけます。

（ ）の中は会派名です。



栗原 義幸 (公明党)

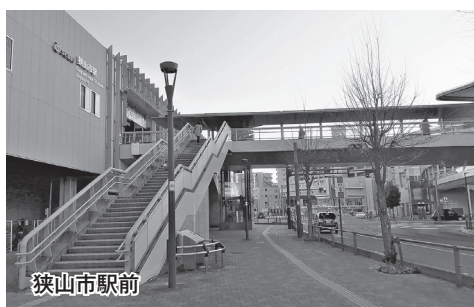
飯能駅北口の「立体交差化」で安心・安全な駅前環境の創出と賑わいのあるまちづくりを

問 飯能駅北口、ロータリーの出入口となる交差点は、常に歩行者の横断が多い交差点であるが、信号等も設置されていない。駅前のため、路線バスやタクシーの往来が多い場所であり、歩行者の安全対策が不十分と考える。当該箇所への歩行者の交通安全対策について、本市の取り組み状況を伺う。

答 飯能駅北口周辺における、通勤・通学時間帯の車両や人の流れについては、本市でも認識をしている。当該交差点の信号機設置について、飯能警察署では、基準に該当しないため設置はできないとの見解である。本市としては、駅前歩道付近への放置自転車の撤去、路面標示の整備などを継続的に実施している。飯能警察署においては、警察官による立哨等を行っている。

問 当該交差点の安全対策においては、駅前ということから、歩行者と車両を上下の空間に分離する「立体化」が有効である。多くの事例を見ても、利用環境の改善や駅前の活性化にも効果的である。市長においては、中心市街地の活性化とともに久下六道線の改良整備等を政策として掲げている。そこで当該交差点の「立体交差化」と併せ、北口駅前ロータリーの改修・再整備等を検討すべきと考える。市長の見解を伺う。

答 久下六道線の整備においても、道路の拡幅にとどまらず、中心市街地エリアの面的整備目標として、居心地がよく歩きたくなるまちづくりを提案し、住民の皆様と意見交換を行ったところ。駅前の「立体交差化」は、引き続き市民との対話を通して、中心市街地のまちづくりに向けて、あらゆる施策検討の中の一つとして考えたい。飯能駅は飯能市の玄関であり、安心・安全、賑わいのあるまちなかの玄関としてもふさわしいまちづくりに取り組んでいく。



狭山市駅前



長谷川 順子 (無所属)

阿須山中メガソーラー問題
子どもへの暴力防止策
HPVワクチン接種は慎重に

問 阿須山中の土地について前大久保市政では「負の遺産」と説明したが、新井市長の考えは。

答 この土地の経緯については認識している。買戻し後10年間のうちに検討するとしている中で、利活用を図るという考えは理解できる。

問 買戻しが終了していないうちに事業者に貸し出し、伐採と盛土・切土工事が始まっているが。

答 検証委員会の中で明らかにしていく。

問 検証委員会のメンバー及び進捗状況は。

答 市職員4名で構成し、外部の方は考えていない。申請から今までの流れを確認中で、その後に意見交換会を予定したいと考えている。

問 伐採木の搬出費用は全額事業者の負担とすべき。終了した売却代金等の議会報告を。

答 売却代金より伐採搬出経費が上回っていることを確認し、覚書を締結し、事業者が実施するもので売却先や売却代金は把握していない。

問 市内での虐待、性的虐待の発生状況は。

答 昨年度の小・中学生の虐待件数は、ネグレクト9件、心理的虐待4件、身体的虐待1件で性的虐待の報告はなかった。

問 子どもへの暴力防止講座・CAP講座を市内の子どもたちに導入する予定はあるか。

答 CAP講座の効果は認識している。導入の予定はないが、各学校と研究していく。

問 子宮頸がんワクチン接種再開にあたり、市内医師会等から意見を伺うことも重要だと思うが。

答 厚労省の審議会から見解が出されており、接種者へはワクチンの有効性・安全性等について十分な説明をお願いしていく。

問 自伐型林業の導入への補助策は。

答 山間地の活性化のため、自伐型林業と連携した事業展開は意義あることと捉える。小規模な森林整備への補助金を積極的に活用してほしい。

CAPとは、Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止) の頭文字をとった略称。子どもたちに、安心する権利・自信を持つ権利・選択の自由、自由に生きる権利があるということや、他の子が孤立しないように助け合いの大切さや護身術を教わります。

自分に大切な3つの権利



自分たちの権利を守るためにできること
イヤ NO・逃げる GO・相談 TELL

画像作成：内沼

子どもへの暴力防止講座・CAP講座





新井 巧 (日本共産党)

移動手段確保が一番大きな課題
気候危機に対応した災害対策を
不登校児童・生徒にケアを

問 交通問題を単なる費用対効果としてみるのではなく、健康維持・増進、介護予防、地域コミュニティーなど総合的な視点が重要だ。相当の財政負担を伴っても市政の重要な柱として位置づけることが必要だと思うが。

答 本市にとって一番大きな課題は移動手段の確保だと感じている。来年度からの後期計画に公共交通の維持・確保を位置づけ、多面的効果の視点から検討していきたい。

問 世界的に豪雨、洪水、干ばつ、竜巻など気象災害が深刻化している。令和5年度からの環境基本計画に気候危機を位置づけて、数値目標を定め、施策を進めるべきではないか。

答 太陽光など省エネ補助制度などを実施してきた。次期計画にはCO₂削減目標を定め、行政、事業者、市民とともに取り組んでいく。

問 国交省は、「気候変動を踏まえた治水計画のあり方の提言」を出した。気候変動に適応した治水計画へ転換することは待ったなしの課題とし、将来予測を活用した治水計画への転換を強調している。気候変動に対応した排水基準の見直しなどはあるか。現在の取り組みはどうか。

答 基準の見直しについては、国の動向を注視していきたい。市では、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、貯留浸透施設や南小畔川護岸整備などを行い雨水処理能力の向上を図っている。

問 コロナ禍で不登校が増えている。中高生の自殺や暴力行為も問題となっている。生活面、学習面、心のケアなど、どのように分析し対応しているか。学習支援員などを大幅に増やして対応することが必要ではないか。

答 悩みや不安を軽減できるよう個別面談、記述調査を実施し、SOSを出せるような体制を整えている。ケアの精神をもち、子どもを大切にできる支援員、介助員の任用に努力していく。



台風第19号で冠水した国道



武田 一宏 (ネクストはんのう)

企業誘致の進捗と今後の展望
ヤングケアラー支援について
SDGsの取り組みについて

問 企業誘致の今後の展望とターゲットの業種は。

答 環境との調和維持を図りつつ、周辺農地等の利活用も含め、新たな産業立地手法を検討し企業誘致を展開する。また、狭山日高インターチェンジに隣接する精明東部地区の一部を特定施設誘導地域に指定し、流通系、工業系の施設・工場を誘致し雇用の創出と自主財源の確保につなげていく。

問 誘致した企業から誘致理由の調査をしているか。

答 立地した企業にお話を伺い調査している。多くの企業が立地場所とした理由の一つに地盤が強固であることを挙げている。

問 飯能市は地盤ネットHDが制定するいい地盤の日アワード大賞を受賞した。このことをうたい文句とした企業誘致の広報を積極的に行うべきであると思うがいかがか。

答 今後もチラシや市のホームページにて、地震に強い土地であるという本市の売りを前面に出し企業誘致を推進する。

問 ヤングケアラーの実態調査は行われているのか。

答 11月に教職員へのアンケート調査を行い、今後は児童・生徒へのアンケート調査を実施していく。

問 ヤングケアラーに対しての支援策は。

答 担任を中心として、スクールカウンセラーやさわやか相談員など学校職員が児童・生徒との信頼関係を築き、健康福祉部と学校教育課で情報共有し重層的支援に努めている。

問 ヤングケアラーの認知向上のための取り組みは。

答 埼玉県が作成したヤングケアラーハンドブックを各学校へ配布し、授業等で活用することで認知向上を目指す。

問 来年度実施予定の事業をSDGs未来都市事業としてエントリーをしてみたいがいかがか。

答 エントリーは地域におけるSDGsの取り組みを大きく前進させる機会である。先進自治体における取り組みや効果などを調査、研究していく。



ヤングケアラーハンドブック
出典：埼玉県HP





滝沢 修 (日本共産党)

子どもたちを交通事故から守れ
久下六道線(東銀座通り)整備
住民の声が活かされる街並みに

問 国や県は教育委員会、学校、道路管理者と連携し通学路の合同点検を実施するとともに、実効性のある交通安全対策を講じるよう通達した。県内の学校や幼稚園などが5月から7月に行った通学路の安全点検で改善要望があった箇所が9,087箇所あったとされている。飯能市の状況はどうか。

答 国からの通知を受け、学校と保護者による通学路点検が実施され、市の所管分として88箇所の要望があった。危険度や緊急性の高い箇所から優先順位をつけ、計画的に整備する。

問 11月18日、21日に久下六道線整備意見交換会が開催され、駅前通り交差点から297mを「居心地がよく歩きたくなる」まちなかの創出として道路幅16m、歩道を4.5mで整備をする案が示された。整備によりまちの活性化が図られるのか。

答 都市の骨格形成と、良好な都市環境の確保からまちの発展に寄与するものと考えている。

問 ウォーカブルなまちづくりとして松山市や出雲市などの例が説明されたが、飯能市にあてはまるのか。

答 国交省の資料で説明したが、歩きやすくなった歩道の利活用や店舗の増加などの効果が発揮され今後の飯能市のまちづくりの参考になると思う。

問 松山市や出雲市では、地元と対話を重ねながら地域住民や学生、公募者などによるワークショップも開催している。地元の方と一緒に街並みをどのようにしたいのか、そこからの検討が必要ではないか。

答 市の東の玄関口となるこの道路をどのように整備していくのか、関係される方などの意見を聞いていく。ワークショップなどの開催も検討していきたい。



久下六道線(東銀座通り)



熊田 尚子 (公明党)

HPVワクチン積極的勧奨再開
に向けての対応について
災害時のトイレ対策について

問 子宮頸がん予防(HPV)ワクチン定期接種の積極的勧奨が再開されることになった。命に関わるがんを予防できるワクチンとして、小学校6年生から高校1年生の全対象者に郵送通知し、ワクチンの効果と副反応について丁寧な周知と、市民の疑問に寄り添った対応をするべきと考えるが、どのような周知を予定しているか。

答 個別に詳しい説明が掲載される新たなリーフレット、予診票などを送付するとともに、市ホームページに記事を掲載するなどして、保護者がワクチンの特性について理解したうえで接種するかどうかの判断ができるよう広く丁寧に周知していく。周知の対象は、ワクチンの供給量など、関係機関と調整しながら、より多くの対象者へ周知できるよう検討していく。

問 定期接種年齢を過ぎ、接種機会を逃してしまった高校生や大学生相当の女子へ、キャッチアップ接種の救済制度が導入された場合の本市の対応は。

答 積極的勧奨が差し控えられていた期間に接種機会を逃した方のキャッチアップについては、国の動向を注視し、国の決定に基づき、接種可能な方が漏れることなく、接種の機会を逸することのないよう、適切に対応していく。

問 東日本大震災において、避難所の生活による死因が1/3を占めており、災害時のトイレ対策は、生死に関わる重要な課題となっている。トイレ問題を解決する一つの方策として、移動式トイレトレーラーを導入してはどうか。

答 避難者に普段のトイレと変わらない環境を提供できることによる衛生面の確保等のメリットがあるが、平常時の活用等の課題も認識しており、避難者が安全で安心して避難所で過ごすことができるよう良好な環境の整備に努め、今後先進自治体の事例を調査研究していく。



トイレットレーラー 出典:JPホームサプライ(株)





坂井 悦子 (日本維新の会)

選挙公営の見える化
リカレント教育への対応
ふるさと納税

問 選挙運動費用の公費負担を行う制度は、住民監査請求や返還が全国的に見られる。収支報告書の要旨をインターネット上に公表しては。

答 慎重な判断が必要。現在は飯能市役所前掲示場での告示により公表。

問 選挙用ポスター印刷費は、満額請求し差額で対象外の印刷をさせる、キックバックで政治献金を受ける例も。今年の飯能市議選は、候補者21名中過半数以上が20～30万円台、7名が限度額付近50万円前後の請求。明細記載の契約書添付等、確認可能な仕組みの導入は。

答 現公職選挙法施行規則に準じて規定した様式により提出を求めている。

問 政府は「仕事に生かせる知識やスキルを学ぶリカレント教育」と「生涯学習」を混同しないよう記載。政府方針との整合性や工夫は。

答 重要性を理解し、本来のリカレント教育支援につながる学習機会の創出や充実を図り、社会人が学びやすい環境の整備を進める。関係部署との連携を強化し情報発信にも努める。

問 ふるさと納税の経費割合は。費用圧縮、委託先の費用対効果を見定める必要があると考えるが。

答 経費全体で約45%～48%。経費削減に努め、費用対効果の現れる訴求方法等を今後も追及。

問 ムーミン基金条例の設置目的等を見直し、より市民・市全体にメリットがあるよう改正しては。

答 ムーミン基金は「北欧やムーミンの世界と連携した観光施策の推進」に限り処分が可能。ライセンスとの交渉で現在の用途をもって基金名に「ムーミン」を冠しているため、従来通り。

問 新井市長の今後の方針は。ムーミン関連で既存事業を指定して用途を増やすなどの検討は。ふるさと納税全般で各基金のあり方の再検討は。

答 現行の各基金は残しつつ、用途について最適な方法を検討する。

リカレント教育とは

「生涯を通じて学び続けていくこと」

学校卒業後も仕事と交互に教育を受けていくことが望ましいとされる

今の時代に求められる知識・スキルにアップデートする

スキルアップ キャリア形成 など



野口 和彦 (チームはんのう)

人口増加政策について

問 コロナ禍になりテレワークという会社に通わなくても働ける社会的に大きな変化が起こっている。例えば、まるひろの最上階は何年も空きスペースとなっており、ここを行政がシェアオフィスとして積極的に借り上げて民間委託をするような積極性が必要ではないか。

答 働く場が増えれば多くの人が集まってくることから、様々な取り組みの中で、雇用機会の創出を図り、若者に選ばれるような人口増加策につなげていきたい。

問 文部科学省では、国際バカロレア教育を推進しており、公立のインターナショナルスクールを市内で提供することができれば、グローバル社会に対応できる人材を育成することができる。個人的に考えているのが、幼児から小中高までの一貫した国際バカロレア教育を市内で受け、大学は海外へ繋げるような環境が整備できれば、英語教育目的で移住を検討される方も増えるのではないか。

答 市外の方が移住してでも子どもを飯能市の学校に通わせたいと思うような特色ある学校になれば、より素晴らしいことであるとする。

問 埼玉版スーパー・シティプロジェクトに参画し、立地適正化計画も含み、改めて飯能市の30年先の未来を見据えたまちづくり計画を、後期基本計画の実施期間の中で策定してはいかがか。

答 令和7年度での目標人口8万人の実現に向け、あらゆる施策、計画により取り組んでいく。なかでも、土地利用に関する考え方を定める都市計画の重要性を強く感じているところである。



埼玉版スーパー・シティプロジェクト
出典：埼玉県HP





金子 敏江 (日本共産党)

飯能第一小学校校舎建て替えを美杉台小学校区学童保育所の増設を予算化へ

問 飯能第一小学校は歴史ある小学校。昭和33年頃は児童数2,500人もあったが令和3年は600人と減少。校舎は老朽化が激しく、雨漏りや一部のトイレが使用できず、冷暖房設備もギリギリの状態。校舎の建て替えを早急に検討する時期ではないか。

答 飯能第一小学校の現在の校舎は、昭和41年から44年にかけて建設され、建設後50年以上が経過している。平成11年から13年にかけて校舎の耐震補強工事を実施しているが、大規模な改修工事を行っていない。近年は、修繕等の維持管理費が増大している状況。特に、給排水設備の老朽化は深刻で修繕することもできずトイレ、水道等の使用が不可能となっている箇所も多い。外装に著しい劣化があり、設備も耐用年数を大幅に超えている状況。今年度、第一小学校校舎の長寿命化計画の策定から基本構想を検討し今後の整備方針を決定していくための基礎的な資料作成等について整備計画策定支援業務を委託した。今後は、庁内横断的な部署による検討体制を組み、学校としての機能を踏まえたうえで他の公共施設との関連も視野に入れ、施設の多機能化、集約化、複合化など有効活用について協議・検討していく考えである。

問 美杉台小学校区の児童数増に伴う学童保育所の整備が追いつかず、4年生以上では退所せざるを得ない状態が続いてきた。増設の見通しはどうか。

答 学童保育所の運営を委託しているNPO法人ぬくもり福祉会たんぽぽを通じて、美杉台児童館の近隣にある浄心会館の所有者である浄心寺住職様から、地域のためにと土地建物の売却もしくは借用のお話を頂戴した。所有者と運営者と協議を重ね、土地建物は借用し、必要な修繕費、備品購入費を予算化した。



建て替え協議に入った飯能第一小学校



パタソンひとみ (チームはんのう)

語学教育について 授業数、検定料、ICT活用、国際交流について 中学生の交流活動

問 新学習指導要領によって増えた英語教育の授業数は確保できているのか。

答 小学校は週に1コマ分、中学校は週に2コマ分の授業数が確保できている。

問 CAN-DOリストの活用が高校のみならず、小・中学校で推進されているが、現状は。

答 「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」が提言される中・高等学校において卒業時の到達目標を設定し4技能5領域での「～することができる」の形で設定するもので、中学校では活用されているが、小学校では今後の導入が見込まれる。

問 国際社会で活躍し、世界に通用する実践的な語学力の習得の強化がなされているが、コロナ禍で家計は圧迫されている中、英語検定の受検意欲を高めるためにも、英検に限らず検定料の公費補助はどのようになっているか。

答 現在、英検の検定料補助は行っていない。受検についても任意であるため各家庭による負担となっているが、今後、公費補助の必要性について慎重に研究していく。

問 英語教育にICTを活用した授業の取り組みを。

答 写真や動画等を提示しながらスピーチし、自らのスピーチを録音し、学級で共有したりアメリカ在住の方とオンライン交流や外国語授業などの交流活動を行い、活用している。

問 全児童・生徒へ切れ目ない一貫した取り組みは。

答 より質の高い教育を行うため、小・中学校で連携しているが、中学・高校はまだ課題がある。意欲を高めていけるよう努める。

問 これからの全児童・生徒のためにも、コロナ禍で中断している姉妹都市・ブレア市との国際交流の再開の現状は。

答 ICTを活用したバーチャル交流を来年1～2月に中学生とブレア市の高校生で開催する。

飯能市・ブレア市姉妹都市提携40周年記念写真展の様子

Movies of the commemorate photo exhibition held for 40th anniversary of a sister city agreement between Hanno City and Brea City



市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>



あきる野市議会をオンライン視察

審議の日程

12月定例会

- 11月 26日 開会
市長提出先議議案の上程・提案理由説明・質疑・討論・採決
市長提出その他議案の上程・提案理由説明
- 12月 1日 議案質疑、議案の委員会付託
2日 常任委員会（総務教育・生活福祉・経済建設）
7日 一般質問
8日 一般質問
9日 一般質問
14日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・質疑・討論・採決
埼玉県都市競艇組合議会議員選挙
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

10月

- 8日 広報委員会
12日 議員提案条例に関する勉強会
28日 埼玉県都市競艇組合議会定例会

11月

- 9日 代表者会議
15日 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
埼玉西部消防組合議会臨時会
16日 全員協議会
広報委員会
22日 議会運営委員会
26日 第5回定例会（12月14日まで）
広報委員会

12月

- 14日 広報委員会
20日 議員提案条例に関する勉強会

1月

- 7日 広報委員会

☆インターネットで視聴・閲覧できます

◆ 一般質問 ◆

飯能市議会録画

検索



◆ 会議録 ◆

飯能市議会会議録

検索



（12月定例会の会議録は令和4年2月中旬頃公開予定です。）

次回の3月定例会は 2月25日開会予定です。

会期日程等は2月22日頃内定します。

* 編集を終えて *

こんにちは。広報委員の長谷川です。広報委員となつて、もうすぐ1年になろうとしています。

議員として、また広報委員として市民の皆さまには何が必要なのか、その実現のためにはどうすればよいのか日々考えています。飯能市は人と文化と風土が交じり合い、新しいコトが始まるなど、とても魅力のあるまちです。”誰もが安心して暮らせるまち”となるように今後も小さな声こそ耳を傾けていきたいです。

そのため、広報委員会では市民の皆さまに市議会がより身近に感じられる「市議会だより」となるようにオンライン視察を行うなど、刷新するべく毎月検討を重ねています。リニューアル第1号は次回の5月1日号です。

ぜひご期待ください。

（長谷川）

広報委員（◎委員長 ○副委員長）

◎内田 健次 ○武田 一宏 長谷川 順子
パタソンひとみ 栗原 義幸 滝沢 修

戸田競艇場開催日（埼玉県都市競艇組合主催分）
2/5～2/8、2/19～2/24、3/24～3/27

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

（収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。）



※ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。